

患者さんへ

当研究室では、「脂肪肝の発症に関わる食事成分に関する研究」を行います。この研究は、東京大学医学部倫理委員会による審議に基づき、医学部長の許可を得て実施するものです。

【対象となる方】

平成 27 年 1 月 15 日から平成 28 年 12 月 28 日までの期間に、筑波大学附属病院に外来通院あるいは入院された脂肪肝患者さん

【研究の意義・目的】

脂肪肝は食生活の乱れにより、余剰な脂質が肝臓に蓄積することによって、引き起こされることが知られています。近年、食事の欧米化による過食の増加傾向も相まって、食事に含まれる成分と脂肪肝病態との関連が注目されています。しかしながら、具体的にどのような食事成分が脂肪肝のリスク因子と成りうるのかに関しては、未だ不明な点が多いのが現状です。

そこで、本研究では、医学的必要性から採取された血漿検体を用いて、血漿中食事成分の濃度解析やメタボローム解析を行い、生体内において、食事成分やその関連代謝物と脂肪肝発症との関連性について検討します。

【研究の方法】

血漿中成分のメタボローム解析ならびに種々の食事成分の濃度解析を行い、肝臓中の中性脂質量、血中 ALT（アラニントランスアミナーゼ）濃度をはじめとする脂肪肝病態に関する各臨床検査値や検査結果との関係性を相関分析などの統計的手法を用いて解析します。

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京大学医学部倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療で収集された血漿検体や肝臓中の中性脂質量、血中 ALT（アラニントランスアミラーゼ）などの臨床検査値データを用いて行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしい場合は下記の連絡先まで御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問い合わせがあれば開示いたします。ご不明な点がございましたら下記の連絡先へ 2019 年 6 月 30 日までにご連絡ください。

2017 年 5 月

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院薬剤部 講師 高田 龍平

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 37514）

Eメールでのお問い合わせ：tappei-tky@umin.ac.jp